

細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

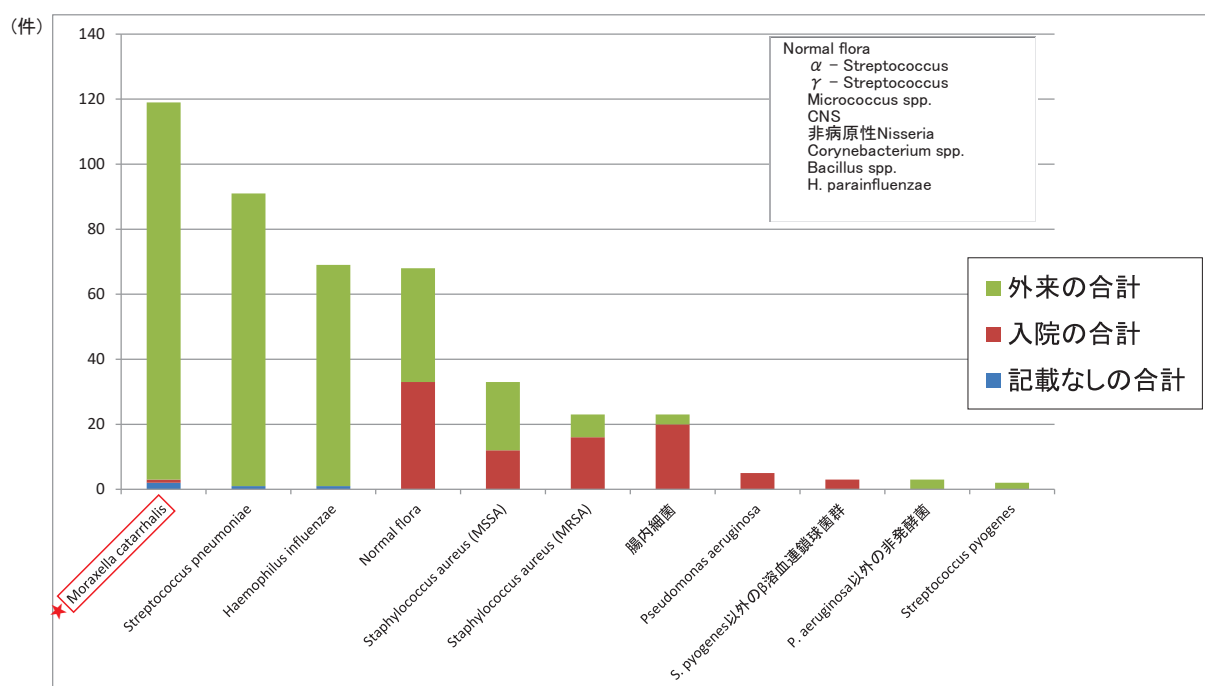


当検査センターで受託した細菌検査における統計資料を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、咽頭・鼻漏・鼻腔・扁桃の細菌検出状況を掲載いたします。

【細菌検出状況】

【咽頭・鼻漏・鼻腔・扁桃】細菌検出状況 2022年05月



2022年5月の咽頭・鼻漏・鼻腔・扁桃の細菌検出状況では、*Moraxella catarrhalis* が最も多く、次いで *Streptococcus pneumoniae*、*Haemophilus influenzae* が検出されています。

M. catarrhalis は鼻咽頭粘膜や口腔内など、ヒトの上気道に常在する菌で、市中肺炎、気管支炎などの呼吸器感染症、急性および慢性の副鼻腔炎の起炎菌となります。年齢によっても症状と病態が異なり、小児では中耳炎、成人では慢性閉塞性肺疾患や気管支拡張症の急性増悪時に多く検出されます。

また、*M. catarrhalis* は小児の後鼻腔に常在するため、呼吸器材料から *S. pneumoniae* や *H. influenzae* と同時に検出される場合が多く、当検査センターでも約50%が上記二菌種のいずれかと同時に検出されています。

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況情報についての情報をご覧ください。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>

検査科微生物係